

まちの広報紙マガジン いなゆしろ

代田猪苗報

Oct. 2010

10

No. 600

町民の皆さんと
共に歩んで

600号

広報の歩み



200号

昭和52年6月10日発行
A4判1色刷り 14ページ
発行200号を記念して、「広報200号の歴史」という特集が組まれた。創刊号からの歴史、県広報コンクールの入賞、タイトルの移り変わり、歴代広報担当者からのアドバイスや広報紙ができるまでなどを4ページにわたり紹介している。「町職員全員が広報マンになってほしい。住民の皆さんの協力も必要です」と当時の担当者が語りかけます。いつの時代も、担当者の思いは同じなのかもしれません。



100号

昭和44年9月1日発行
A4判1色刷り 4ページ
町民体育館と長瀬小学校の起工式、長瀬連絡所の落成式、川桁のトマト共選場の完成などを紹介している。また、広報いなわしろ創刊100号を1ページで特集。「よく知らせ、よく聴くことで、一層親しまれ、役立つ広報紙に」と締めくくっている。



創刊号

昭和37年4月20日発行 特集号
B5判1色刷り 4ページ
役場の機構改革と事務形態の改善をお知らせするための特集号として発行された。窓口事務の一本化、事務改善のための配置変更や37年度予算編成方針などを紹介している。写真は、役場の窓口と磐梯山の2枚。



500号

平成14年6月10日発行
A4判1色刷り 20ページ
市町村合併と下水道整備計画をそれぞれ2ページで紹介。まちのわだい、笑顔でこんにちは、保健だよりや町のお知らせなど、現在の広報まで続いている企画が見られる。



400号

平成6年2月10日発行
A4判1色刷り 12ページ
町内で開催された全日本学生スキー選手権大会を2ページの組写真で紹介。成人式の写真も大きい。表紙には、翌年開催される冬季国体を成功させようというロゴが入っている。



300号

昭和60年10月10日発行
A4判1色刷り 12ページ
決算のお知らせや町の話などを紹介している。東西長寿番付に掲載されているのは、わずか75人だった。表紙はシリーズの「猪苗代三十三観音」。掲載される写真も多くなりました。

特集

町民の皆さんと共に歩んで600号



毎月1回、町が発行する「広報猪苗代」昭和37年4月の創刊号から数えて今月で600号を迎えました。これまでの道のりを振り返るとともに、広報猪苗代はどうあるべきかを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

その他の歩み

- 38年12月1日第21号 広報初の特集 財政白書
- 39年11月1日別冊 町村合併10周年記念号を発行
- 40年5月1日第41号 A4判4ページに 同月、別冊財政白書特集号の発行を開始。49年の11月号まで毎年発行
- 48年1月1日第147号 初めて表紙にカラー写真が登場
- 49年8月20日別冊 虚礼廃止特集号を発行
- 51年11月5日別冊 冷害特集号を発行
- 52年2月15日別冊 豪雪特集号を発行
- 52年6月20日 広報縮刷版を発行
- 59年4月10日第282号以降毎号表紙、裏表紙がカラーに
- 63年8月10日別冊 磐梯山噴火百周年特集号を発行
- 平成3年11月 広報縮刷版第2号を発行
- 19年4月10日第558号 表紙が全面写真に

創刊から48年と6カ月、第600号という節目を迎えた広報猪苗代。これまでの道のりを振り返ります。

前身は公民館だより

昭和30年、1町4村が合併して猪苗代町に。4カ月後、長瀬村と合併して、現在の猪苗代町が誕生しました。その数カ月後、広報猪苗代の前身、猪苗代町公民館だよりが発行されました。第1回町長杯囲碁将棋大会の開催目的を、合併後の旧町村のふすまを取り払い、町民の融和を図ることと紹介していました。行政と町民の間に立ち、その橋渡しをする広報紙に、どこか通じているような気がします。

広報いなわしろ創刊

37年4月、役場の機構改革に伴い、広報いなわしろが誕生しました。基本的には月に1号のペースで発行されましたが、財政白書特集号など、別冊号が出ることもありました。そのため、第600号でぴったり50年ということにはなっていない。



社団法人 日本広報協会
藤本 勝也 さん
Katuya Fujimoto

●日本広報協会
昭和38年に設立された内閣府の所管団体。会員である地方公共団体や各種団体の広報担当者向けに、セミナーの開催やコンサルティング業務、各種情報提供、コンクールなどを行う。

広報猪苗代は、手に取ってみたいくなる広報紙

「インターネットが行政広報の主流になる」ということをよく耳にしますが、私はまだまだ広報紙は必要だと思っています。インターネットは、「この情報が必要だ」と思ったときにアクセスするメディアです。しかし、必要な情報があることを知らなければ、アクセスできません。広報紙は、毎月配布されま

みたくなる広報紙だと思っています。毎月「何だろう」と読んでみたくなるような特集があり、読み進むにつれ、「いなわしろタウページ」といったまちのお知らせページにたどり着きます。これは「広報紙を読んでもらいたい」「情報を届けたい」と、毎月工夫している担当者の成果です。

猪苗代の皆さん、「広報猪苗代」を隅から隅まで読みましょう。きっと必要な情報が見つかるはずですよ。もし、必要な情報がなくても、読み物としても十分に楽しめると思いますよ。最後にになりましたが、「広報猪苗代」600号おめでとうございます。

皆さんはどう読む？ 広報猪苗代

What Do You Think About
Public Relations Magazine
of Inawashiro

主役も町民、読者も町民の「広報猪苗代」
町民の皆さんは、広報についてどう思っているのでしょうか。お話を聞きました。



毎号読んで活用しています。写真はわかりやすく、インパクトがあり、写真を見るとその行事のイメージが鮮明になります。記事の内容は、細くなりすぎないように主なことをかいつまんで、もう少し大きな字で書くといいのではないのでしょうか。読むと心が温まるような記事(コラム・投稿など)があるといいと思います (古川朋子さん・翁島駅前)



いつも読んでいます。いろいろな情報が載っているのが、楽しみにしています。子育てに関する情報や、子育てに関する情報をいろいろと載せてほしいですね (庄司志帆さん・朝陽くん・桜ヶ丘)



最近、表紙、写真やレイアウトがすごく良くなったと思います。以前はたまにしか読まなかったけど、今は毎号読んでいます。この前のセミの羽化の写真が良かったです (金作亜紀さん、一輝くん・名古屋町)



個人情報など、内容が細かすぎるような気がします。高齢者に対する情報が少ないので、そういったものを載せてほしいです (三浦美枝子さん・磐根)



広報はあまり詳しく見ていません。学校の様子とか写真がもっと増えるといいと思います。記事と写真がカラーだといいな (大島詩音くん・釜井)



お悔やみの欄は毎回読みますが、そのほかは見出しを見て、興味がないと読まないです。個人情報の問題があるので、仕方がないと思いますが、子どもの出生の欄がなくなったのはさみしいです (山本正子さん・名古屋町)



広報は毎月、一通り読みます。一生懸命作っているのがわかります。行事の記事などが、ほほえましいと思います。難しい町政の記事はわかりやすく、楽しい記事も載せてほしいです (渡辺ノブ子さん・四ツ谷)



知り合いが出ていることも多いので、楽しみに読んでいます。この町の知らなかった情報を知ることができるのもいいですね。町のお店やおすすめスポットなども紹介してほしいです (松浦大介さん・神明町)

その他の意見と提案



町の情報源なので一通り読んでいます。特に「笑顔でこんにちは」や情報の欄は毎号チェックしている。予算・決算などは読んでもよくわからない。県外から移住してきて、町のことがよくわからないので、おすすめの店などを紹介するコーナーがあったらいいと思う。広報がバラバラになってしまうことがあるので、ホチキス止めされていると良い (30代・女性)



いつも楽しみにしている。孫がいるので、特に保健だよりはよく読む。行事予定のチェックにも活用している。子どもの出生の欄がほしい (60代・男性)

面白い月とそうではない月がある。もっと興味深い、面白いものを期待します。安く作れる料理のメニューなどがあればいいかも (50代・女性)

いろいろな情報が載っていて役に立つ。興味のあるものは読みますが、そうじゃないものはざっと目を通すくらい。こちらに引越してきた人には、町の歴史などを紹介するコーナーがあるといいです (60代・女性)

町の情報がわかって良い。特集は読むが、細かいところはあまり見ない。年間のまつり・イベントの予定などが載っていたらいい (60代・男性)

読んでいて、よくやっていると思う。自分も高齢なので、お悔やみの欄を気にして見ている (70代・女性)

写真が良いので、いつも楽しみにしている (40代・女性)

ホームページと広報で、町の施策などいろいろな情報を得ています (60代・男性)

仕事がなく困っている人が多いので、就職案内の欄を作ってみてはどうか (60代・男性)

子育て支援全般、育児サークルなど、子どもを持つ親のための情報を載せてほしい (20代・女性)

新聞やチラシなどで情報は入ってくるので、あまり読まない (60代・女性)

皆さんにもっと必要とされる 広報猪苗代へ



デザインは変わっても大切なものは変わらない広報紙でありたい

広報とは

48年前、広報いなわしろが発行された目的は、民主化、合理化、そして人間化が求められる行政において、住民に行政情報をお知らせすることでした。半世紀が過ぎた今でも、基本的なことは変わっていません。広報発行の目的は、町の施策や仕事をわかりやすく、正確に町民の皆さんにお知らせすることです。月に1回、確実に皆さんの家庭に届けられる広報紙は、情報をお知らせしているという意味では、その役目を果たしているかと思えます。しかし、情報をお知らせしただけで、広報紙の役割を果たしていると言えるのでしょうか。

「○○制度ができました」「○○をしましょう」と、紙面でお

知らせやお願いをしても、小難しい表現やお役所言葉が並んでいたら、簡単に読み飛ばされてしまいます。それを読んだ人が「じゃあその制度を利用してみよう」「わたしも○○をしてみよう」と思わなければ、お知らせした意味がありません。情報が届いたかどうかは、物理的なものではなく、皆さんの心に届き、少しでも何かを与えたかということなのではないでしょうか。

共有する

広報が発信した情報が、正確に皆さんに伝わる。それは皆さんと行政が、情報を共有したということ。同じ情報を持ち、同じ意識を共有することで、対等の関係ができます。それは、最近よく耳にする、協働のまちづくりの基本でもあります。

まちづくりの主役が、この町に住んでいる皆さん一人一人であることは、言うまでもありません。現在、町が置かれている状況や施策を、皆さんに正確に知ってもらい、次は、行政が皆さんの考えや意見を聞いて共有する。この相互理解が、協働のまちづくりへの第一歩なのではないでしょうか。

協働する

猪苗代町には、素敵な場所がたくさんあります。素晴らしいものがたくさんあります。そして、頑張っている人がたくさんいます。広報猪苗代は、そんなものや人を紹介し、応援します。まちの新たな魅力や頑張っている人を知り、もっと猪苗代を好きになる。このまちに住んでいることを、誇りに思う。すると、自分たちの住むこのまちをもっと良くしたいという気持ちが出てきます。その気持ちや行動は、まさに協働のまちづくりそのものなのです。

皆さん一人一人と行政が情報を共有し、相互理解を深め、それをまちづくりなどに生かしていく。それが広報紙の役割であるならば、広報を作っているのは、皆さん一人一人であるとも言えます。

広報猪苗代は、皆さんのためにあり、皆さんに必要とされる広報紙であり続けたいと願っています。そして、そのためには、わたしたち行政の努力はもちろんのこと、町民の皆さんの協力が欠かせません。これからも広報猪苗代を一層に作り上げていきましょう。

広報猪苗代ができるまで

皆さんが今、手に持って読んでいる広報猪苗代は、このように作られています。



- ①企画
町の施策、お知らせや町民の皆さんから寄せられた情報などから、今伝えるべきものを、どのように伝えるかを考え、企画を立てます。
- ②取材
さらに詳しい情報を得るため、また、皆さんに伝える写真を撮影するために取材に出かけます。
- ③編集
文章を考え、写真を選び、紙面を作ります。



- ④入稿・校正
編集を終えたデータを、業務内で校正し、印刷会社に渡します。印刷会社の試し刷りで、写真の色などをチェックします。修正がなければ印刷へ。
- ⑤印刷
印刷会社が印刷・製本をします。
- ⑥納品
毎月10日に納品された広報(土、日、祝日の場合は後にズレます)に、職員がチラシなどを折り込み、地区ごとにまとめます。
- ⑦配布
契約した運送会社が、各区長のもとに届けます。区長や担当者などが各家庭に配布します。行政区外の人には直接発送します。



皆さんのお手元へ

Interview

広報の達人に聞く

担当者の愛と情熱が生み出した理想の広報紙

皆さんは、毎月家庭に届けられる「広報猪苗代」を当たり前だと思っていますか。一般的に広報紙の配布エリアは発行自治体のエリア。他の自治体とはなかなか比較できません。

「猪苗代」は、福島県広報コンクールで入選した全国トップクラスの広報紙です。広報紙を企画・編集する担当者の愛と情熱、不断の努力が成し得た猪苗代の自慢の一つです。

IT化が進み、パソコンやケータイがあれば、いつでもどこでも、誰でも、世界中の情報を入手できるようになりました。このような中で、手にとってもらえるだけの品格や品質と読者が満足できる内容の両方がな

ければ、読んでもらえないことは事実です。行政からの一方的な情報提供ではなく、住民から行政へのメッセージも含めた「双方向の情報誌」であることが理想です。多くの町民が登場し、四季折々のまちの様子が凝縮された「猪苗代」は、理想の広報紙であると言えます。

たとえば制作のすべてを業者に委託した場合、費用は今の数倍にもなるでしょう。さらに限られた期間で、これほどのアイデアやクオリティを発揮することは極めて困難です。地域を愛し、地域を知り尽くした担当者だからこそ実現できた「猪苗代」。財政が厳しい時代、ローコストで制作している点も大いに評価すべきです。

48年前、広報いなわしろが発行された目的は、民主化、合理化、そして人間化が求められる行政において、住民に行政情報をお知らせすることでした。半世紀が過ぎた今でも、基本的なことは変わっていません。広報発行の目的は、町の施策や仕事をわかりやすく、正確に町民の皆さんにお知らせすることです。月に1回、確実に皆さんの家庭に届けられる広報紙は、情報をお知らせしているという意味では、その役目を果たしているかと思えます。しかし、情報をお知らせしただけで、広報紙の役割を果たしていると言えるのでしょうか。



岩手県藤沢町 広報担当

島山 浩 さん
Koh Hatakeyama

Profile 1999年から広報を担当
全国広報コンクール入選11回、うち
内閣総理大臣賞2回。
地域住民への愛にあふれる広報紙を
作り続け、全国の広報担当者から目
標とされる広報界のトップランナー。

決算

一般会計から見る町の財政状況

わたしたちの生活に密接にかかわっている一般会計の決算状況を見てみましょう。

歳入は約75億2千万円

歳入は、皆さんが支払う町税、町が事業をするために借り入れる町債、地方交付税、国庫支出金や県支出金などが主なものです。

21年度の歳入総額は、75億2千586万7千円で、前年度より6億7千775万円減少しました。減少の主な理由は、税収の減少や町体験交流館の建設が終了したことなどです。

歳出は約72億7千万円

一方、歳出のほうを見てみましょう。21年度の歳出総額は、72億6千987万4千円で、前年度より6億8千672万3千円減少しました。歳出の主な事業は、定額給付金事業や地域活性化臨時交付金事業などで、防災行政無線の親局更新、消防ポンプ車の購入や林道の整備などを実施しました。

ここ数年、本町では、一般財源の不足分を、財政調整基金からの繰り入れに頼っていました。しかし、21年度は繰り入れをせず、財政調整基金に約7千万円の積み立てをすることができました。

このほど町の21年度の決算がまとまり、9月に開かれた、町定例議会で認定されました。決算は、皆さんが納めた税金など、町の収入を、どのように使ったかを明らかにし、説明するものです。決算から見る町の財政状況を説明します。

平成21年度歳入歳出決算額および対前年度比較表

単位：千円

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	歳入		歳出		20年度	
				20年度との比較	増減率	20年度との比較	増減率	歳入	歳出
一般会計	7,525,867	7,269,874	255,993	△677,750	△8.26%	△686,723	△8.63%	8,203,617	7,956,597
特別会計	34,941	34,505	436	17,681	102.44%	17,465	102.49%	17,260	17,040
特種会計	6,398	5,653	745	4,030	170.19%	3,387	149.47%	2,368	2,266
猪苗代地区財産区	10,897	10,776	121	△1,361	△11.10%	△1,346	△11.10%	12,258	12,122
翁島地区財産区	31,493	31,168	325	20,950	198.71%	20,913	203.93%	10,543	10,255
長瀬地区財産区	1,747,388	1,716,522	30,866	△60,308	△3.34%	△57,380	△3.23%	1,807,696	1,773,902
吾妻地区財産区	13,822	13,696	126	△292,422	△95.49%	△278,995	△95.32%	306,244	292,691
国民健康保険	144,821	143,622	1,199	69,552	92.40%	71,951	100.39%	75,269	71,671
老人保健	692,480	673,134	19,346	△165,292	△19.27%	△168,172	△19.99%	857,772	841,306
簡易水道事業	163,055	158,668	4,387	6,582	4.21%	8,201	5.45%	156,473	150,467
下水道事業	267,301	261,760	5,541	90,314	51.03%	89,197	51.69%	176,987	172,563
特定環境保全下水道事業	1,221,314	1,213,339	7,975	79,032	6.92%	84,343	7.47%	1,142,282	1,128,996
農業集落排水事業	153,581	153,398	183	346	0.23%	543	0.36%	153,235	152,855
介護保険	4,487,491	4,416,241	71,250	△230,896	△4.89%	△209,893	△4.54%	4,718,387	4,626,134
特別会計計	12,013,358	11,686,115	327,243	△908,646	△7.03%	△896,616	△7.13%	12,922,004	12,582,731
一般会計+特別会計合計									

水道事業会計決算 ()内は前年度比増減率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収入	301,652 (101.4%)	収入	9,957 (△94.5%)
支出	263,291 (△5.6%)	支出	133,855 (△60.1%)

*資本的収支の不足額1億2,389万8千円は、内部留保資金、建設改良積立金などから補てんしました。

病院事業会計決算 ()内は前年度比増減率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収入	68,894 (163.4%)	収入	1,365,040 (124.2%)
支出	68,954 (166.7%)	支出	1,365,040 (124.4%)

町の財政指標から見る町の財政状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)に設けられた、4つの指標の状況を見てみましょう。本町の場合、実質赤字比率と凍結実質赤字比率は、赤字ではないので、該当がありません。

実質公債費比率は17.7%

実質公債費比率は、町税や地方交付税などの歳入のうち、何%が借金の返済に使われているかを示すもので、過去3年間の平均値で示されます。町の実質公債費比率は、17.7%で、昨年より0.6%減少しています。

将来負担比率は140.9%

将来負担比率は、一般会計における標準的な年間収入の何年分の借金があるかを表す比率です。町の将来負担比率は、140.9%で、昨年より9.9%減少しています。

町では、財政健全化計画などを策定し、今後も経費の削減に努め、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

町税の負担

町民の皆さんが21年度に負担した町税は、年間平均で1人当たり113,986円1世帯当たり351,019円となりました(国民健康保険税を除く)。

1人当たり町税負担の内訳

町民税	35,777円
固定資産税	66,829円
軽自動車税	2,026円
町たばこ税	7,141円
入湯税	2,213円
国民健康保険税	92,338円

※町民税負担の内訳は、22年3月31日現在の住民基本台帳人口16,272人、世帯数5,284世帯、国民健康保険税は4,653人で計算しています。

国勢調査へのご協力ありがとうございました。また、国勢調査の回答はお済みでしょうか

回答が済んでいない人は、調査票への記入、提出をお願いします。



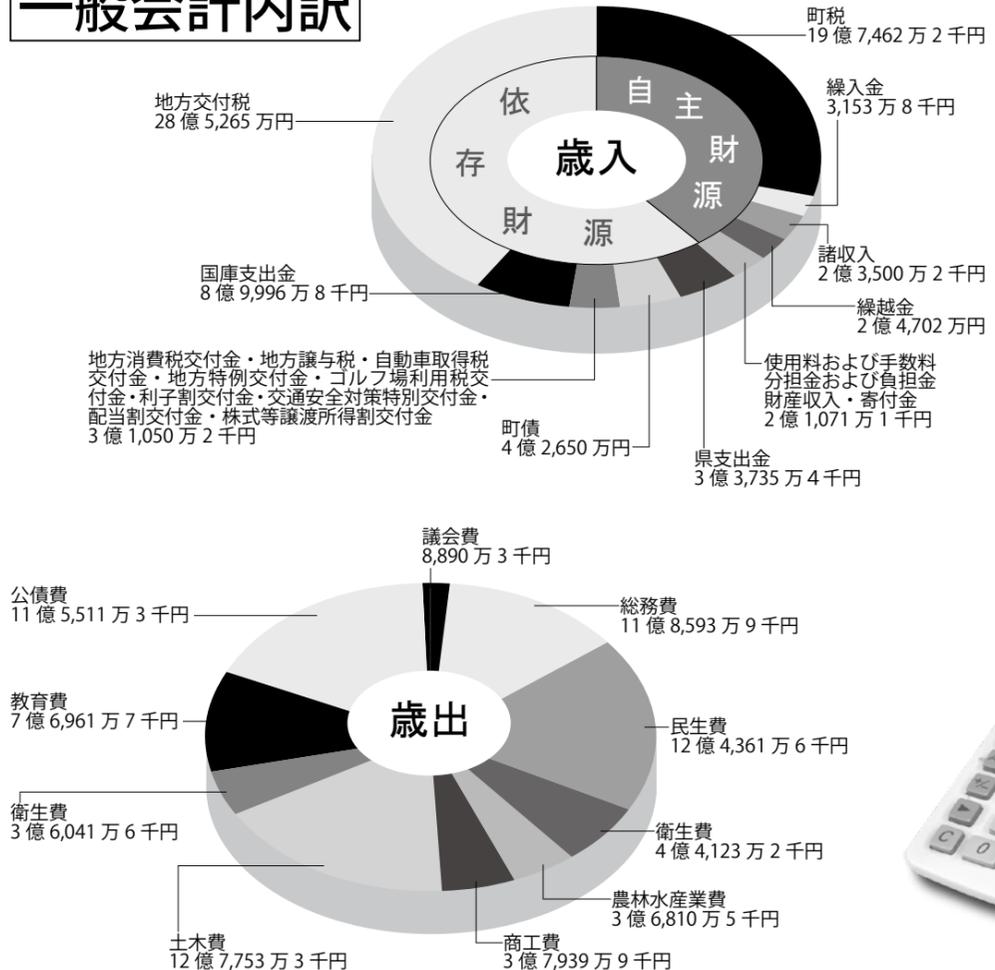
☎(62)2112 FAX(62)5175

○国勢調査は、22年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。

○記入していただいた調査票は、封筒に入れて封をして調査員に渡していただくか、郵送提出用封筒に入れ、町に郵送で提出してください。

※回答が済んでいない場合や調査票が届いていない場合は、町役場企画財務課に連絡してください。

一般会計内訳





3



4



2



1

命 財産 守れ 守れ

22年度町総合防災訓練



5



6



7



8



9

1_ 校舎からの避難訓練。予想以上の煙から急いで逃げる児童ら 2_ 地域住民らが参加してのバケツリレー。訓練をしながら改良点を見つけるなど、本番さながらの真剣さで臨んでいた 3_ 長瀬川河川敷では消防団員が土のう積み訓練 4_ レスキュー隊員が乗用車からケガ人を救助する 5_ 一斉放水訓練に挑む緑小学校の児童ら 6_ 救急車が参加した重傷者移送訓練 7_ 婦人消防連絡協議会による給水訓練 8_ 警察署員らが倒木の除去訓練と車両除去訓練に挑んだ 9_ 炊き出し訓練では梅がゆなどのごはん類、スープ、クッキーなどが配布された

○机の下で地震がおさまるのを待ち、校庭に避難する避難訓練(緑小学校児童)
○バケツリレーと放水による初期消火訓練
(地域住民・消防団・婦人消防隊)
○倒木で移動できなくなった車を除去する交通障害車両除去訓練(警察署)
○事故で車内に閉じ込められた人を救出し、救急車で移送する救助・救出訓練と

【町役場】
○災害対策本部設置訓練
○防災無線で地震の発生を町民に知らせる広報訓練(町職員)

【緑小学校】

○机の下で地震がおさまるのを待ち、校庭に避難する避難訓練(緑小学校児童)
○バケツリレーと放水による初期消火訓練
(地域住民・消防団・婦人消防隊)

【町役場】
○災害対策本部設置訓練
○防災無線で地震の発生を町民に知らせる広報訓練(町職員)

町総合防災訓練は9月26日、緑小学校校庭をメイン会場に、町関係者、消防団員、地域住民や緑小学校児童など約560人が参加して実施されました。訓練は、震度6を超える強い地震が発生し、町内の各地で家屋の倒壊や火災、交通事故などが多発。さらに台風が接近し、水害も発生したとの想定で開始されました。主な訓練の様子を写真で紹介します。

町総合防災訓練は9月26日、緑小学校校庭をメイン会場に、町関係者、消防団員、地域住民や緑小学校児童など約560人が参加して実施されました。

【長瀬川河川敷】
○土のうを積み、河川の氾濫に備える水防訓練
(消防団・土木事務所)
○県消防防災ヘリが長瀬川の中州に取り残された要救助者の救助・救出訓練(県消防防災航空センター・消防署)

そのほか、各行政区でも避難訓練などが実施され、参加者は万一の災害に備えて、真剣な表情で訓練に取り組みました。

重傷者移送訓練(消防署・消防本部)
○一斉放水訓練(消防団・緑小学校児童)
○給水・応急給食訓練(婦人消防連絡協議会・町赤十字奉仕団)

今回の想定は地震、火災と水害でしたが、磐梯山のふもとで暮らすわたしたちは、噴火の可能性も忘れてはいけません。
―災害は忘れたころにやってくる―
わたしたちに必要なのは、いつ大災害が起こっても不思議ではないことを忘れず、訓練のとおり自分たちの身を守るように備える心構えです。

今回の想定は地震、火災と水害でしたが、磐梯山のふもとで暮らすわたしたちは、噴火の可能性も忘れてはいけません。
―災害は忘れたころにやってくる―
わたしたちに必要なのは、いつ大災害が起こっても不思議ではないことを忘れず、訓練のとおり自分たちの身を守るように備える心構えです。

Elementary school



写真上 学校の名譽をかけ、チームが一丸となって戦ったリレー競技
写真下 男子100m走、男子80mハードル、男子リレーと3冠を達成した猪苗代小学校の新田さん

80mハードルで大会新記録

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭は9月15日、町運動公園陸上競技場で開かれ、町内5小学校の児童ら約150人が全力で競技に取り組みました。

男子100m走、男子80mハードル、男子4×100mリレーでも優勝するなど、三冠に輝いた新田峻介さん(猪苗代小6年)は「お兄ちゃんの大会記録を破れたのがうれしい。ほかの学校にも早い子がいたので、優勝できてよかったです。19年にお兄ちゃんが三冠を達成していたので、自分も達成できてよかった」と大会を振り返りました。

児童たちは日ごろの練習の成果を發揮し、自己ベストを目指して競技に取り組みました。また、自分の種目以外の時も休むことなく、応援に来た保護者らと一緒に競技中の児童を応援し、友情を深めました。

High school



写真上 世界のガラス館前に15人の生徒が並び、ドライバーに安全運転を呼び掛けました
写真下 これ以上交通事故が起これないように願いを込めたという林生徒会長

猪高生らが無事故を訴える

秋の全国交通安全運動がスタートした9月21日、交通関係団体会員、猪苗代警察署員と交通安全広報・啓発要員に委嘱されている猪苗代高の生徒15人が、国道49号線沿いで啓発活動をしました。この活動は、県下一斉の広報啓発作戦(セーフティ・ウェーブ作戦)の一環として、猪苗代警察署が企画したものです。

生徒たちは「秋の全国交通安全運動実施中!!」と1人1文字ずつ書かれた看板を掲げ、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。

生徒会役員として活動に参加した生徒会長の林文婷さんは「今日、町内で事故があったと聞き、みんな残念に思っていました。これ以上交通事故が起きないように願って街頭に立ちます」と話しました。猪高生らは、雨で中止になった翁島小学校の児童による鼓笛パレードの分も頑張ろうと街頭に立ち続けました。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

東中合唱部が東北大会出場

TBC・TUFこども音楽コンクール東北大会に出場する東中学校特設合唱部の生徒らは9月29日、出場報告のため、町役場を訪れました。

同校合唱部は、9月5日に須賀川市で開かれた同コンクール郡山地区大会で優秀賞に選ばれ、10月16、17日の両日、宮城県名取市で開かれる東北大会への出場を決めました。

合唱部部長の遠藤真由さんが「36人全員が一丸となって、東中合唱部らしく歌い、観客に感動を与えたい」副部長の佐藤百恵さんは「昼休みだけの練習でも、集中して頑張ってきた。本番では、楽しみながら歌いたい」と笑顔で抱負を述べました。

津金町長は「皆さんの活躍は一人一人の努力のたまもの。町民の誇りです。東北大会でも練習の成果を發揮して良い成績を残してください」と激励しました。



写真上 「特設部でありながら、非常にまとまっている。大規模校にも負けない」と話す中村幸裕校長(右端)
写真下 東北大会出場への決意を語った遠藤真由さん(左)と佐藤百恵さん(右)



写真上 友だちと協力して頑張る「紅白玉入れ」。絶対に負けれない戦いがそこにはある?
写真下 親子で一緒に頑張る「大玉ころがし」。子どもたちはみんな笑顔

会場に親子の笑顔あふれる

町内3保育所の運動会は9月18日、各保育所で開かれました。川桁保育所では、綱引き、紅白玉入れ、リレーなどの団体競技のほか、親子競技、リズム体操や白虎隊の演舞などに取り組みしました。

親子競技で楽しそうにはじける笑顔、かけっこを頑張る真剣な顔や一等賞のリボンを誇らしげに自慢する顔など、子どもたちはいろいろな表情を見せてくれます。そんな子どもたちを保護者らは温かく見守り、盛んな声援を送りました。

観賞用と撮影用に2回踊る川桁保育所の白虎隊では、子どもたちの成長に感動した保護者らが、ビデオカメラに向けたま涙ぐむ姿も見られました。

子どもたちの一番の楽しみは、やはりお弁当。家族と一緒においしいご飯を食べる子どもたちの表情は、この日一番の笑顔で、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

Junior high school

Nursery school



高齢者の長寿と健康を祝う

カメリーナで、敬老の集いを開催



85歳を迎えた人の代表者に、座布団が手渡されました

22年度の町敬老の集いは9月11日、カメリーナで開催されました。町内の70歳以上の高齢者3,987人が招待され、そのうち約1,100人が出席しました。津金町長、宇月静子町婦人連絡協議会長があいさつした後、今年85歳を迎えた人たちに、記念品の座布団が手渡されました。出席者を代表して、戸田忠義町老人クラブ連合会長が謝辞を述べました。

その後、開催された演芸では、猪苗代幼稚園、猪苗代保育所や町婦人連絡協議会の皆さんが歌や踊りを披露、出席した皆さんの長寿と健康を祝いました。

古里に思いをはせる一日を

東京猪苗代町民会が総会を開催



会員の皆さんが、ステージで町民会の歌を熱唱

東京猪苗代町民会(瀧口幸男会長 会員260人)の総会・懇親会は9月12日、東京都港区のホテルグランパシフィック・ル・台場で開催されました。瀧口会長のあいさつ後、津金町長、鈴木武喜町議会議長らが祝辞を述べ、盛会を祝いました。

毎年総会に出席し、猪苗代三番叟や祝い唄などを披露している猪苗代民謡伝承会の関澤忠亮さん、渡辺力さん、渡部一さんと安部利八さんの4人が民謡を披露し、会場を盛り上げました。

会場内では、久しぶりの再会を喜ぶ声や1年間の報告などをするうれしそうな顔であふれました。

教育施設の環境向上のため

ビルドの会が補修のボランティア



川桁保育所での作業風景

猪苗代ビルドの会(佐藤力会長)は9月17日、町内教育施設への補修作業ボランティアを実施しました。

この活動は、同会の恒例行事となっており、今年で13回目を迎えました。当日は、作業に先立ち出発式を開催し、その後、作業内容や行程を確認、3グループに分かれて各学校へ出発。町内の保育所、幼稚園や小中学校で、補修などの軽作業や棚の設置などをしました。子どもたちは、普段見慣れない作業風景に興味津々。その鮮やかな手つきに目を奪われ、遊ぶことをやめて見入っていました。

町民らがスポーツの秋満喫

町民大運動会で心地よい汗を流す



地区対抗のムカデ競走に挑む参加者ら

第30回猪苗代町民大運動会は9月5日、町運動公園陸上競技場で開かれ、町内6地区から参加した約1,300人が親睦を深めました。小・中学生の徒競走や老人クラブ会員による「ゲートインワン」などの年代別競技のほか、地区対抗のムカデ競走、綱引きやリレーなど計17種目で熱戦が繰り広げられました。

30回を記念し、大会役員らが挑戦した長縄跳びでは、町民から大きな声援が送られました。地区別の成績では、「地区対抗綱引き」「いざ! 出動」や「地区対抗リレー男子」を制した猪苗代地区が見事総合優勝に輝きました。

猪苗代の伝統を高遠で披露

西久保彼岸獅子保存会が高遠を訪問



うだるような暑さの中、4曲を披露した保存会の皆さん

西久保地区の西久保彼岸獅子保存会(長谷川仁会長)が参加した「高遠城下まつり」は9月4日、長野県伊那市の高遠町で開かれました。本町と伊那市高遠町は、保科正之公の縁で交流事業などを実施しています。今回の高遠城下まつり参加は、保科正之公生誕400年を来年に控え、より交流を深めたいとの願いから実現したものです。

「猪苗代の郷土芸能を披露してほしい」と招待を受けて参加した同会の会員らは、うだるような暑さの中、メインステージで4曲を披露。会場からは温かい拍手が送られました。

ガーナと猪苗代の友好願う

駐日ガーナ大使が町長を表敬訪問



津金町長(右)を表敬訪問したテンコラン大使(中央)

「日本・ガーナ共和国友好・講演会の夕べ」は9月7日、学びいで開かれました。講演会では、3月に皇太子さまらとともにガーナを訪問した野口英世記念館学芸員の小松山六郎さんが現地での様子などを報告。続いて在ガーナ共和国日本人会会長の田村芳一さんが「野口英世博士の心を伝えるガーナ共和国の日本人たち」と題して講演しました。講演に先立ち、表敬訪問のため町役場を訪れたガーナ共和国のクワメ・アサモア・テンコラン駐日ガーナ特命全権大使は、津金町長と会談し「猪苗代町とガーナ共和国との友好がますます深まることを願っている」と話しました。

インフルエンザ予防接種について

10月から、町内の医療機関でインフルエンザの予防接種が始まりました。インフルエンザワクチンを接種することで、重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。

○本年度は、3価混合ワクチン(季節性+新型)の接種になります。季節性と新型が同時に接種できるので、身体的、経済的負担が軽減されます。

◆◆◆町インフルエンザ予防接種の概要◆◆◆

対象者	町内に住民登録している人		
実施期間	23年3月31日まで		
接種回数	13歳未満の人…2回	※1歳未満の子どもについては、予防接種で免疫をつけることが難しいため、インフルエンザワクチン接種は推奨されませんが、有益性とリスクを十分に考慮した上で接種を受けることは差し支えありません	
	13歳以上の人…1回	※医師の判断により2回接種になることがあります	
接種に必要なもの	①住所・氏名・年齢を確認できるもの(免許証、健康保険証や母子保険手帳など) ②自己負担金 ③新型インフルエンザワクチン助成事業対象者証明書(生活保護世帯・市町村民税非課税世帯)		

◆接種費用と自己負担額

接種者の区分	1回目			2回目		
	接種料金	町助成	自己負担額	接種料金	町助成	自己負担額
1歳未満	3,600円	なし	3,600円	2,550円(3,600円)	なし	2,550円(3,600円)
1歳以上小学6年生まで	3,600円	2,000円	1,600円	2,550円(3,600円)	2,000円	550円(1,600円)
中学生	13歳未満(1回目接種時)	2,000円	1,600円	2,550円(3,600円)	2,000円	550円(1,600円)
	13歳以上	3,600円	2,000円	1,600円		
妊婦	3,600円	2,000円	1,600円			
高校生以上65歳未満	3,600円	なし	3,600円			
○65歳以上 ○60歳以上65歳未満の心臓・腎臓・呼吸機能障害またはヒト免疫不全症による身体障害者1級の人	3,600円	1,800円	1,800円			
○生活保護世帯 ○市町村民税非課税世帯 ※助成対象者証明書が必要	3,600円	3,600円	0円	2,550円(3,600円)	2,550円(3,600円)	0円(0円) ※13歳未満に限る

※2回目のカッコ内の金額は、1回目とは違う医療機関で接種した場合の金額を表しています。

◆償還払いについて

負担軽減者に該当する人で、接種料金を実費で支払った人は、接種料金の全額または一部が戻ります。下記書類を持参の上、町役場保健福祉課窓口で手続きをしてください。

○持参書類 領収書・接種済証・銀行またはJAの通帳・印鑑
(生活保護世帯、市町村民税非課税世帯の人は「新型インフルエンザワクチン接種助成事業対象者証明書」が必要になります)

◆接種にあたっての注意事項

①ワクチンを準備する都合上、事前に医療機関などに電話確認をしてください。

②当日の体調や持病などにより、予防接種を受けられない場合があります。医師の判断に従ってください。

③町外の医療機関・施設で接種を受ける場合
福島県広域予防接種を実施している医療機関・施設であれば、自己負担額だけで接種ができます。それ以外(県外での接種など)については、保健福祉課に問い合わせてください。

●インフルエンザ予防接種に関するお問い合わせは 保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62)2115

◆接種場所 町内指定医療機関または

町内老人保健施設など(施設入所者に限る)

医療機関名	電話番号
浅見クリニック	63-2200
小川医院	62-2132
かねこ内科外科クリニック	72-0660
町立猪苗代病院(中学生以上)	62-2350
野崎医院	66-2245
マリアクリニック(要問い合わせ)	66-2700
矢吹医院	62-2169
六角外科泌尿器科医院	62-2640
町内老人保健施設など	
いなわしろホーム	66-4123
ケアテル猪苗代	62-3500
咲楽の里	72-0557

※接種料金は、医療機関によって異なる場合があります

宝の山に誇りを持ち後世へ

3町村が協力し磐梯山憲章を制定



左から五十嵐磐梯町長、小椋北塩原村長、鈴木副町長

本町、磐梯町と北塩原村の3町村が制定を進めてきた「磐梯山憲章」の宣言式は9月21日、町役場正庁で執り行われました。

磐梯山周辺観光推進連絡協議会長の小椋敏一北塩原村長、五十嵐源市磐梯町長と鈴木幹男副町長が宣言に臨み、小椋村長が「磐梯山は一つという共通認識の下、3町村が一体となって磐梯山周辺の貴重な自然、景観、歴史と文化を国内外に発信していく」とあいさつした後、磐梯山憲章の前文と条文を高らかに読み上げました。憲章は、協議会が発行する登山マップ、パンフレットや登山口の立て看板などで自然保護思想の啓蒙に活用します。

【磐梯山憲章】

磐梯山は、その美しく雄大な姿から「天に掛かる岩の梯子」を意味する「いわはしやま」と呼ばれ、古くから山岳信仰の対象とされてきました。万葉集には「会津嶺」と詠われ、別名「会津富士」とも呼ばれております。その雄大さ、気高さにより、「慧日寺」に代表される会津の仏教文化の発祥の山として、広く会津の人々から崇められ、心のよりどころとされた霊峰です。

磐梯山は、1888年(明治21年)の大噴火の「岩なだれ」により、四百七十余名の犠牲者を出しました。一方、この噴火により、「五色沼」をはじめとする多くの湖沼群が創生され、多様な生き物を育て、併せて美しい景観が人々を魅了し、また、その学術的価値も高く評価されております。

磐梯山は、わたしたちにとって、美しい景観とともに豊富な水資源や温泉などの恵みをもたらしています。先人は、この恵みに感謝するとともにこれを活かして、温もりと潤いに満ちた生活と文化をはぐくんできました。

- 一 磐梯山の自然、歴史、文化を学び、よく知ろう。
- 一 磐梯山の恵みに感謝し、活かし、人との共生を図ろう。
- 一 磐梯山の自然環境を守り、適正な利用に努めよう。
- 一 磐梯山に畏敬の念と誇りを持ち、後世に継承しよう。
- 一 磐梯山のために、一人一人が自ら考え行動しよう。

しかし、今、磐梯山の自然環境は、人々の生活様式の変化や余暇利用の多様化などにより様々な影響を受けています。人の手によって失われたその貴重な自然を復元するためには、長い年月が必要となります。

磐梯山は、自然、景観、歴史、文化のどれをとっても素晴らしい「宝の山」です。未来へ引き継ぐべき貴重な財産です。わたしたちは、この宝を後世に伝えるために磐梯山の自然、景観、歴史、文化への誇りを持ち、自然保護と火山防災に努め、一人一人が自ら考え行動し、磐梯山と人との共生を目指します。

今こそわたしたちは、磐梯山を愛する思いを結集し、力を合わせてその保全と適正な利用に取り組み、「磐梯山は、地域住民にとって財産であり、宝の山である」と宣言します。

そして、磐梯山に畏敬の念と誇りを持ち、後世に引き継いでいくことを決意し、猪苗代町・磐梯町・北塩原村は、ここに「磐梯山憲章」を定めます。

お済みですか、体のチェック

検診は終わった。では、その後は？

22年度の特定健康診査、がん検診、結核検診や骨検診などの各種検診は、10月12日で終了しました(※クーポン券による女性の検診は、12月31日まで実施しています)。暑い中、朝早くから大変お疲れさまでした。皆さんのお手元に、検診結果が届いたでしょうか。町では、検診結果にあわせて、特定保健指導(メタボ改善プログラム)や骨粗しょう症予防教室などの健康教室と一般健康相談を実施しています。また、各行政区で栄養講習会や健康相談カメラリーナでは健康運動教室なども開いています。それぞれ該当する人には、お知らせを送っています。

自分の検診結果を、もう一度確認し、検診結果票を持って各種教室、栄養講習会や健康相談に参加してみませんか。あなたの健康管理に役立つことが、きっと見つかります。これまで、年に一度、どこかの健診機関で、健康診査やそれらに増えてしまった人もいるか

大丈夫と思わずに 早めの精密検査を

各種検診で「要精検」となった皆さん。精密検査は受けましたか。症状がないから大丈夫だと思っていないませんか。本年度の特定健診では、病気の早期発見、早期治療をするため、また一人でも多くの人に健診を受診してもらうため、これまででは医師の判断が必要とされた「心電図・貧血・眼底」の検査を全員に実施しました。



翁島地区の栄養講習会



健康運動教室でのカローリング



特定保健指導の改善プログラムに取り組むことで、ほとんどの皆さんに成果が出ます。まずは参加してみましょう。参加者の中には、腹囲が10センチ以上も減った人もいました。

れに相当する検査を受けている人や病気の治療中の人は、町で実施する健診は受けなくてもよいとされてきました。20年度に導入された特定健康診査では、40歳以上74歳までの人は、治療中の人も含め、全員が自分の加入している保険者が実施する特定健康診査を受けることになっています。社会保険などの被保険者で、まだ健診を受けていない人は、それぞれ加入の保険者に問い合わせの上、受診してください。

もしも、改善は難しくなります。がんなどの各種検診はもちろん、ぜひ、早いうちに精密検査を受けましょう。▼問い合わせ先 保健福祉課 健康づくり業務 電話(62)2115



大好きなお外で、パパと一緒にポーズ。

最近、手押し車で歩く練習をしている悠くん。1人で歩いて、大冒険を始めるのも、もうすぐです。パパとママは、ますます目が離せません。

小野寺 悠くん

平成21年12月生まれ
～木地小屋
稔さん・淳さん夫婦の長男

「身の回りにあるものを、とりあえず口に運んでしまうので、目が離せません。特にティッシュは危険ですね」と笑顔で話すママの淳さん。いろいろなことに興味を持ちだした、やんちゃ盛りのお悠くんは、いつも生傷が絶えないそうです。おじいちゃんとおばあちゃんも、悠くんをとてもかわいがっていて、一家は悠くんを中心に回っているんだとか。パパの稔さんが休みの日には、悠くんを連れてお出かけをするのが一家の過ごし方だ。 「悠がもう少し大きくなったら、一緒にバイクで出かけた」と話す稔さんと、「危ないから駄目だよ」とやさしく笑う淳さん。本当は、ママも一緒に出かけたかったかもしれませんね。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。 電話(62)2111

サークル紹介

Circle introduction

「英語で勉強して、初めて知ったこともあります」 「勉強も楽しいけど、みんな話をするのが楽しい」と笑顔で話す会員の皆さん。アットホームな雰囲気の中で授業は進んでいきました。同会では、会の活動に興味のある人や見学希望の人も募集しています。 ※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。 電話(62)2111

日本文学を英語で読む会 (押田キャサリン代表)



(写真左) 英語で書かれた奥の細道を音読しながら、芭蕉の気持ちに思いを馳せる (写真右) ジェスチャーを交えながらテキストを説明する押田先生

教室の中での会話も、基本は英語を使用します



猪苗代町体験交流館からのお知らせ

■成人式は1月9日です

来年の成人式は、下記の日程で開催します。参加を希望する新成人は、11月12日(金)までに手続きをしてください。

- 日時：23年1月9日(日)
午後1時から出席者受付
午後2時から午後3時30分 式典と記念撮影
- 会場：学びいな
- 対象：平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた人で、AかBに該当する人

A 町内に住民登録をしている人(卒業した中学校は問いません)

9月末日現在で町内に住んでいる人には、往復ハガキで案内を送ります。「出席する」・「出席しない」のどちらかを丸で囲んで申し込んでください。10月以降に住民登録をして、出席を希望する人は、電話で申し込んでください。

B 町内の中学校を卒業した人(住民登録の有無は問いません)

町内に住民登録をしていない人には、往復ハガキの案内を送りません。出席を希望する人は、電話で申し込んでください。家族の人などが代理で申し込むこともできます。

■パソコンで年賀状を作ってみよう

初心者、中級者向けのパソコン教室を開催します。自分のレベルと目的にあわせて申し込んでください。

- 初心者コース(パソコン入門) 定員10人
午前9時30分～午前11時30分
 - 中級者コース(年賀状を作ろう) 定員10人
午後6時30分～午後8時30分
両コースとも11月12日、16日、19日、26日、30日、12月3日の全6回開催
 - 中級者コース(総会資料を作ろう) 定員10人
午前10時～正午 23年2月14日、15日、16日、21日、22日、23日の全6回開催
- ※各コースとも、会場は学びいな。参加費は1,000円程度。全6回参加できる人に限ります。

■マジック教室を開催します

簡単なマジックをマスターし、パーティーなどでみんなを驚かせてみませんか。申し込みは学びいなまで。

- 日時：10月27日、11月3日、17日(全3回)
午後7時～午後9時
- 場所：学びいな
- 定員：20人 ●参加費：教材費4,000円程度

イベントのお知らせ

■皆さんの体力はどれくらい?

町民の皆さんの体力・運動能力を測定する、町民体力測定を実施します。自分の体力を確認するため、健康増進のため、気軽に参加してみませんか。この体力測定を契機に、自分の体力に合わせた運動を見つけてください。

- 参加賞を用意してお待ちしています。
- 日時：10月24日(日) 午前9時～正午
- 会場：カメリーナ
- 対象：20歳から79歳までの町民



■話題のニュースポーツに挑戦

町民の皆さんの健康と体力の維持を促進するとともに、ニュースポーツの普及を図る、ニュースポーツフェスティバルを開催します。

新しいスポーツに挑戦して、日ごろの運動不足を解消しませんか。地域の交流や親子のコミュニケーションを深めるチャンスです。

- 参加賞を用意してお待ちしています。
- 日時：10月24日(日) 午前9時～正午
- 会場：カメリーナ
- 対象：町民ならどなたでも参加できます。
- 実施種目：

- ①ソフトバレーボール
- ②インディアカ
- ③ビーチボール
- ④ネットネットゲーム
- ⑤フライングディスク
- ⑥ディスクゲッター(ドッチビー用)
- ⑦スポーツガラッキー



フライングディスクに挑戦

※種目は変更になる場合があります。

町民球技大会中央大会の結果

町民球技大会中央大会のバレーボール競技は9月12日、カメリーナで開催され、各地区の代表が熱い戦いを繰り広げました。

決勝戦は、フルセットまでもつれる白熱したゲーム展開に。決勝という名にふさわしい戦いを制したのは、上戸・上戸駅前・湊志田チームでした。

- 優勝 上戸・上戸駅前・湊志田チーム
 - 準優勝 樋ノ口チーム
- ※ソフトボール競技は、雨天のため延期になりました。次号で結果をお知らせします。



白熱したゲームとなった決勝戦

猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

■学びいな秋祭り開催

学びいなが主催する講座の受講生の作品展示、町体験交流協会の加盟団体によるステージ発表や高齢者作品展など、日ごろの活動の成果を発表します。

生バンドカラオケ、バンド演奏、餅つきなどのアトラクションも実施

- 赤十字奉仕団猪苗代支会による募金活動や炊き出し訓練の豚汁サービスもあります。
- 皆さんぜひ、ご来館ください。
- 日時：11月6日(土)、7日(日)
午前10時～午後3時
- 場所：学びいな



民謡サークルのステージ発表

■民話を学ぶ(祖先からの遺産を今に伝える)

～第二弾 入場無料 誰でも参加できます～

先祖代々語り継がれてきた民話。その中身や語り継がれてきた意味について、一緒に考えてみんべ。

- 日時：10月27日(水) 午後6時30分
- 場所：学びいな
- 内容：語りの技術、手法、心のあり方
- 講師：五十嵐七重さん(全会津語りの会副会長)
- 協力：県文化スポーツ局文化振興課
- 問い合わせ：いなわしろ民話の会 鈴木清孝
携帯 080-3146-7130

■新聞紙で植木鉢を作ろう

鉢植えの野草や花を育てている皆さん、ちょっと変わった手作りの鉢を作ってみませんか。材料は、なんと新聞紙とセメントです。

2日間で素敵な植木鉢を作りましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

- 日時：11月10日(水) 午前9時～午前11時
11月11日(木) 午後1時～午後3時
- 参加費：500円(材料費+講師料)
- 持参品：新聞紙、大きめのバケツ
(詳細は申し込み後にお知らせします)

教育委員会コラム

第六回

出版不況といわれる中、書店では歴史関係の雑誌、小説や参考書などが棚に溢れている。歴史(歴史)を愛好する若い女性などというのも現れ、歴史小説やドラマの主人公などに熱を上げている。さらに、東京や鎌倉などの有名墓地を回り、歴史上の偉人や有名人のお墓に詣でるのが流行っている。アプローチの仕方はいろいろだが、歴史が人々を引き付けて止まない理由は、一体何であろうか。

歴史世界の様相については、最後の審判に象徴されるように「歴史は繰り返さない」というキリスト教的歴史観と、輪廻の法則を背景として「歴史は繰り返す」とする仏教的歴史観の対立とらえるのが一般的のようである。しかし、本当のところは、歴史が繰り返すことは決してないし、また、必ず繰り返すものである。

例えば、会津中将保科正之公(ほねこう)であるが、この偉人が再びこの地上に降り立つことは決してない。しかし、保科正之公のような人物となると、その出現の可能性がないとは言えず、むしろ大いにあると言えるわけである。

来年度は、保科正之公生誕400年にあたる。本町でも、さまざまな顕彰事業などが計画されている。これを機に、わたしたちも正之公、土津神社や猪苗代城などについて勉強し、一層認識を深めよう。さらには、それを町おこしと運動させ、本町が大きく発展することを祈願したい。(土屋)

公売

町有財産の公用車などを公売します

建設課が所管する公用車を公売します。車輛の車種と公売方法は、次のとおりです。

▼除雪ドーザー(アタッチメントロータリー除雪装置付き)

①除雪ドーザー車輪式(KLD製)

・タイヤドーザー13ト級

・昭和57年式

・車検期限 23年7月27日

・走行距離 40,303km

・稼働時間 9,027時間

・雪寒仕様車、アングリング

・プラウ、マルチカプラ装備、

②アタッチメントロータリー除雪装置

・(株)日本除雪機製作所製

・形式 NRT5

・除雪車運転席より操作

※町章、町名表示の削除・名義変更は購入者負担。内装、外装

機械関係には、年式に応じた損傷・さび・汚れがありますので

必ず現車を確認してください

(動作確認可)。

▼公売方法

現車を展示し、その後、入札

により最高入札額者と売買契約

を締結。代金入金確認後に受け

▼問い合わせ先

町民生活課 町民生活業務

☎(62)2114

注意

不正軽油にかかわることは犯罪です

不正軽油とは、軽油に課税される軽油引取税を脱税するために、灯油や重油を混ぜるなどして製造した燃料です。環境汚染や不法投棄の問題のほかに、石油製品販売業、運輸業や建設業などの公正な市場競争も阻害しています。

不正軽油問題に厳正に対処するため、罰則が強化されました。不正軽油にかかわるすべての人が罰則の対象になります。県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」とし、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでいます。不正軽油に関する情報は左記にお寄せください。

▼問い合わせ先

県税務課

☎024(521)7205

FAX024(521)7905

会津地方振興局県税部

☎(29)5261

FAX(29)5239

第14回 猪苗代新そば祭り 特産品などの出店者募集



写真は昨年の出店者の様子
屋内ブース(写真左)
屋外ブース(写真右)

第14回猪苗代新そば祭りは11月13、14(土、日)の両日、町総合体育館(カメリーナ)で開催されます。会場内や周辺で特産品などを販売する出店者を募集しますので、希望する人は10月22日(金)までに下記まで申し込んでください。

1. 開催日時

11月13、14(土、日)の2日間
午前10時～午後2時30分

※出店者は、12日の午後か開催当日の朝に準備をしてください。

2. 開催場所

カメリーナ 内外

※屋内の火気使用には制限がありますので、店の配置については、実行委員会で決定します。

3. 準備物

テントおよびそのほか出店に必要なものは、出店者が用意してください。

※机1台といす2脚は、実行委員会で用意します。
※食品を提供する場合には、衛生面に十分注意してください。

4. 出店料

町内の人 無料

町外の人 1ブース当たり2,500円

5. その他

(1)屋内での火気使用は、卓上コンロ1つまでとします。

(2)出店内容によっては、出店を遠慮していただく場合があります。

●問い合わせ・申し込み先

猪苗代新そば祭り実行委員会事務局
(町役場農林課内 ☎(62)2116)

※前売り券の販売も、こちらまで問い合わせください。

募集

冬季間の除雪車運転手を募集します

町では、冬季間の道路交通と生活環境の確保のため、除雪車運転手を募集します。

▼募集人員

除雪車運転手 28人程度

▼雇用予定期間

22年12月15日(水)～
23年3月14日(月)

▼採用条件

23年3月31日で満65歳以下の健康な人で、大型特殊免許(ホイールトラクター)限定免許除く)と車輛系建設機械運転技能講習終了資格を持っている人

▼提出書類

・履歴書(用紙は建設課で交付します)

・運転免許証の写し

・車輛系建設機械運転技能講習終了証の写し

・健康診断書

健康な人で、大型特殊免許(ホイールトラクター)限定免許除く)と車輛系建設機械運転技能講習終了資格を持っている人

▼提出書類

・履歴書(用紙は建設課で交付します)

・運転免許証の写し

・車輛系建設機械運転技能講習終了証の写し

・健康診断書

手続き

行政サービスを正しく受けるために

住民登録は、氏名、生年月日、性別、住所や世帯主との続柄などを記録したものです。国民健康保険、国民年金や子ども手当など、各種行政サービスを提供するための基礎となります。

最近、テレビや新聞などで取り上げられた、実際にはいないお年寄りの事件などは、届け出をしていないために発生したものです。正確な記録を残すためには、皆さんに理解と協力をいただく、届け出をしましょう。転入・転出届、転居届や世帯主変更届など、変更が生じた場合は、必ず届け出をしてください。

◇現在、住んでいる所に住民登録をしていない人や住民登録を削除されたままの人は、正しく住民登録をする必要があります。役場町民生活課の窓口にご相談してください。

渡しとなります。

▼展示期間・場所

10月18日(月)～22日(金)

役場北側駐車場

午前9時～午後4時

▼質問、問い合わせ期間

10月18日(月)～22日(金)

午前9時～午後4時

※FAX、郵送可

▼入札申し込み期間

10月18日(月)～22日(金)

午後4時まで

※FAX、郵送可

※購入を希望する人は、必ず申込書を提出してください。

※入札参加申込書の様式は、建設課窓口および町ホームページにあります。

▼入札日、入札場所

10月25日(月) 午前10時

役場3階 正庁A

※時間厳守・郵送不可



購入希望の人は、必ず現車を確認してください

子育て

子育てをしやすい環境づくりを推進

子育て支援を進める県民運動の一環として、会津地域の子育て支援団体や行政が連携し、子育てをしやすい環境づくりへの理解を深める事業が、会津子育てフォーラム2010です。

子どもや子育て中の親子が楽しみ、子育て支援関係者などが、子育てへの理解を深めます。

▼開催日時 10月17日(日)

▼会場 会津大学

○午前の部 体育館
午前10時～正午

○遊んだり、楽しんだりする親子イベント○

項目	内容
かえっこバザール	遊ばなくなったおもちゃを持ってポト行き(なくても参加できます)、ポイントをため、ほかのおもちゃと交換できる仕組みです
絵本の読み聞かせ	絵本展示、おすすめ絵本の紹介
ハンドマッサージ	お母さんのためのリフレッシュコーナー
コーナー遊び	・昔の遊びをしてみよう ・紙飛行機を作って遊ぼう ・遊んで学ぶ食育教室 ほか
育児相談	助産師による育児相談

掲示板

告示

- ・第114号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第115号「公示通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第116号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第117号「配当計算書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第118号「国民健康保険被保険者証無効告示」(町民生活課国保年金業務)

公告

- ・第50号「不動産等の最高価申込者決定の公告」(税務課収納業務)
 - ・第51号「農用地利用集積円滑化事業規定の承認」(農林課農林業務)
- ※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

一戸籍事務の電算化について No.4

最終回は、戸籍電算化に伴う個人情報の保護と、戸籍謄本などを請求する際に必要な手続きなどについてお知らせします。

●個人情報の保護について

戸籍事務の電算化では、氏名、本籍や身分事項などの個人情報を取り扱うため、これまで以上に情報の保護対策が重要となります。その対策として、戸籍の電算システムは、役場内のほかの電算システムとは接続しません。ほかのコンピュータからはアクセスできない独立した機能にするとともに、使用者を制限し、個人情報の保護強化を図ります。

●戸籍謄抄本(証明書)の請求について

請求できる謄抄本(証明書)は、請求者自身が記載されているもの、また直系親族(父母・祖父母・子・孫など)の戸籍、除籍、改製原戸籍に限られています。

請求者と兄弟などが別々の戸籍になっている場合は、委任状が必要となります。直系親族(父母・祖父母・子・孫など)以外の方が請求するときも、委任状が必要です。不明な点は問い合わせください。

●氏・名の文字の正字化について

氏または名の文字が正字化される人には、9月末に郵送でお知らせしました。この正字化は、戸籍の表示上の取り扱いであり、これによって氏または名が変更されるわけではありません。

住民票や印鑑証明書(印鑑登録している人)は、戸籍に合わせて修正します。

●住民票の本籍、住所字名(あざめい)文字の正字化について

本籍字名の正字化により、住民票の本籍・住所字名も戸籍に合わせて修正します。

今月号で、戸籍電算化についてのお知らせは終わりです。これまでの掲載内容は次のとおりです。

■7月号

- 戸籍の電算化の準備を進めています
- 11月からスタートする予定です
- 戸籍電算化に伴う
 - ①戸籍証明書交付のスピードアップ
 - ②出生、婚姻等届出審査のスピードアップ
 - ③戸籍謄本・抄本の書式変更について

■8月号

- 電算化により氏名の文字が正字化されます
- 様式が、縦書きから横書き(簡条書き)に変わります

■9月号

- 電算化により本籍字名(あざめい)文字が正字化されます
- 旧字体などで記載されている本籍地名文字の更正について
- 現在の紙製の戸籍は「平成改製原戸籍」に変わります

【お詫びと訂正】

8月号でお知らせした「戸籍事務の電算化No.2」の記事中に誤りがありました。深くお詫びして訂正します。電算化前後の比較表の中の「一部事項証明書」を「個人事項証明書」に訂正します。

- ◆問い合わせ先 町民生活課 町民生活業務 ☎(62)2114

相談

役所や特殊法人への苦情を受けます

10月18日(月)～24日(日)の1週間は「秋の行政相談週間」です。国、県、市町村などの役所やNTTなどの特殊法人の仕事について、苦情、意見や要望を受けるのが行政相談です。期間中は、毎月1回の定例相談会に代えて、出張相談会を開

○午後の部 講堂

午後1時30分～午後3時
・講演
「ブックスタート ～赤ちゃんの笑顔からひろがる まちづくり～」
講師 NPO法人
ブックスタート 職員

- ※ブックスタートとは
赤ちゃんの絵本を開く楽しい体験と、赤ちゃんの保護者がゆとり向きあい、楽しくあたたかい時間を持つきっかけをつくる活動です。
- ▼問い合わせ先
会津保健福祉事務所
☎(29)5278
保健福祉課
☎(62)2115

お願い

生態系を守るため、外来種の駆除を

皆さんは、オオハンゴンソウという花を知っていますか。高さは5センチから30センチくらいで、花びらは黄色で細長く、やや垂れ下がっています。葉には毛が生えていて、触るとざらざらします。冷涼な気候と湿った土壌を好み、種だけでなく、地下茎からも繁殖します。北アメリカから、鑑賞用とし

て日本に持ち込まれましたが、寒さに強く、とても丈夫なことから、今では日本各地で野生化しています。このため、もともとその地域に生えていた植物が減少するなどの悪影響が出ており、国立公園内では駆除をしています。

もし、自宅の庭などで、オオハンゴンソウを見つけたら、その場で刈り取るか、根こそぎ掘って駆除してください。根は完全に乾燥させてから処分。茎、葉や未熟な花は、庭の雑草と同じように処分して構いません。外来生物がこれ以上広がらないように、法律が定められましたが、日本独自の生態系を守るため、特定外来種の駆除にご協力をお願いします。

- ▼問い合わせ先
企画財務課 企画調整業務
☎(62)2112



町内某所で発見したオオハンゴンソウ

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成22年7月31日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成22年	平成21年	増減	増減率%
猪苗代町		58	79	-21	-26.6
磐梯町		14	17	-3	-17.6
裏磐梯		8	11	-3	-27.3
計		80	107	-27	-25.2

罪種別	町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	22年	21年	22年	21年	22年	21年	22年	21年
窃盗犯計	48	68	10	15	8	10		
空き巣	2				2			
金庫破り							1	
事務所荒らし								
出店荒らし		3		2				
倉庫荒らし	1	1						
侵入盗その他	2	5		1	1			
置き引き			1					
車上ねらい	3	6				1		
部品ねらい		1						
脱衣場ねらい	3	9						
自販機ねらい	1	1					1	
万引き	11	9						
職場ねらい	2	1		1			1	
さい銭盗	1	1		1				
畑荒らし		1						
スキー・スノーボード盗	4	6	7	10	2	5		
非侵入盗その他	14	12	1		2	2		
自動車盗	1	3						
オートバイ盗		2						
自転車盗	3	7	1					
その他の乗り物盗								
暴行・傷害	1	1	1	1				
詐欺・横領	2	1						
遺失物等横領	1	1						
器物損壊	4	5	2				1	
その他の刑法犯	2	3	1	1				
総計	58	79	14	17	8	11		
増減			-21	-3		-3		

◎空き巣の発生が予想されます。しっかりと家の戸締りをしてから出かけましょう。
◎万引きは立派な窃盗罪(10年以下の懲役または50万円以下の罰金)です。犯罪をしない・させない環境を地域みんなで作っていきましょう。

2 交通事故状況

死亡事故	0	1	0	0	0	0
増減		-1		0		0
人身事故	54	57	11	10	5	7
増減		-3		1		-2

◎観光目的の運転となると、慣れない道や長距離運転となり、疲れがたまります。こまめに休憩し、無理のない安全運転を心掛けましょう。

募 集

県内で活躍する企業が合同就職面接会を開催

23年3月に大学院・大学・短大・高専・専修学校などを卒業予定の人、20年3月、21年3月、22年3月に卒業して、現在就職活動中の人を対象に、合同就職面接会を開催します。参加するのは、県内に就業場所または営業拠点があり、正社員として雇用する計画のある事業所です。参加事業所は、開催1週間前、福島労働局のホームページで公開します。地元で働きたい皆さん、ぜひ参加してください。

- 名称 平成23年度ふくしま大卒等合同就職面接会
- 開催日時・場所 11月16日(火) 午後1時～午後4時 ビックパレットふくしま
- ※詳しくは下記まで問い合わせください。
- ◎厚生労働省福島労働局職業安定課 ☎024(528)0366

再就職に役立つ情報を就職支援セミナー2010

再就職を目指す人のために、仕事探しに役立つ情報・知識をお伝えします。一人で悩まず、一歩前に進んでみませんか。受講料は無料です。中高年、女性の参加を歓迎します。

- 開催日時 ①11月13日(土) 午後1時30分～午後3時30分

- ②12月11日(土) 午後1時30分～午後3時30分
- ③1月22日(土) 午後1時30分～午後3時30分
- ※各回定員10人。筆記用具を持参してください。
- 開催場所 ふくしま就職応援センター 会津若松窓口(会津若松商工会議所会館2階、駐車場あり)
- ※事前に申し込みが必要です。電話で予約してください。

◎ふくしま就職応援センター 会津若松窓口 ☎(27)8285

県庁や県の出先機関で任期付職員として働く

県庁と県の出先機関では、育児休業を取得する職員の代わりに勤務する職員(育児任期付職員)の、採用候補者登録試験を実施します。この登録試験の合格者は、候補者名簿に登録され、10カ月以上の育児休業を取得する職員がいる場合に採用されます。任期はおおむね10カ月以上3年未満で、各職員の育児休業請求期間に応じて決定されます。

- 受付期間 9月17日(金)～10月29日(金)
- 1次試験 11月12日(金)
- 試験場 福島県自治会館
- ※詳しくは下記まで問い合わせください。
- ◎県総務部人事課 ☎024(521)7033 FAX024(521)7909
- ✉personnel_affairs@pref.fukushima.jp

働く人や就職を希望する人の技能向上を応援

テクノアカデミー会津では、働いている人や就職を希望する人の知識・技能の向上を目的とした講座を開催します。

- 観光基礎英会話 実施予定日は、11月16日、18日、24日、25日(申込締め切り日 11月5日)
- 観光基礎韓国語 実施予定日は、12月6日、7日、9日、10日(申込締め切り日 11月26日)
- 内容 外国人観光客とコミュニケーションを図る程度の英語、韓国語の基礎的知識・技能を、講師との実践的会話により習得します。
- 講習時間 午前10時30分から午後2時40分まで
- 会場 会津若松市 東公民館
- 定員 各コース 15人
- 受講料 各3,900円
- ※詳しくは下記まで問い合わせください。
- ◎県立テクノアカデミー会津 テクノセミナー担当 ☎0241(27)3221 FAX0241(27)3312 HP <http://www.tc-aizu.ac.jp>

賃金や労働条件の問題無料で相談にのります

県と県労働委員会では、皆さんの職場で起きている労使間の困りごとについて、出張相談会(秘密厳守)を開催します。費用は無料です。

- 県中地方振興局管内 10月24日(日) 午前10時から午後3時まで 会場 郡山市労働福祉会館
- 会津地方振興局管内 10月31日(日) 午前10時から午後3時まで 会場 会津若松市中央公民館
- ※県労働委員会では、上記に限らず、来所・電話・メールなどで随時相談を受け付けています。気軽に相談し

てください。
◎福島県労働委員会事務局 ☎024(521)7594 ✉labour-rc@pref.fukushima.jp

第10回野口シカさんを偲ぶウォーキング大会

町が誇る世界的医学者、野口英世博士の母シカは、子どもたちの健康と出世を願い、毎年会津美里町の中田観音まで歩き、参拝をしていました。シカの苦勞や子を思う母の心に思いをはせながら、同じ道りを歩きます。

- 開催日 10月30日(土)
- 参加資格 健康な人ならどなたでも参加可能
- 定員 100人
- 参加料 1,000円(傷害保険料などを含む)
- コース 10キロから60キロまでの全5コース。出発時間、コース経路など、詳細は問い合わせください。
- ◎野口シカさんウォーク実行委員会 ☎(93)8530 Fax(93)8531 ✉fukushima@npo-bandai2000.com

消防署からのお知らせ 秋の火災予防運動実施

- 実施期間 11月9日(火)～11月15日(月) 22年度全国統一防火標語 「消したかな」あなたを守る 合言葉
- 火の用心6つのポイント
- ・家のまわりに燃えやすいものを置かない
- ・寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- ・天ぷらを揚げるときはその場を離れない
- ・風が強いときは、たき火をしない
- ・子どもには、マッチやライターで遊ばせない
- ・電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
- ※万が一に備えて、住宅用火災警報器を設置しましょう!
- ◎猪苗代消防署 ☎(62)4433

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
メッセージは削除しました。ご了承ください。

善意をありがとう

社会福祉事業協力金として
佐藤マツさん(中ノ沢) 10,000円

町の人口

平成22年9月1日現在の現住人口(前月比)	
世帯数	5,096戸(-2)
人口	男 7,521人(-4)
	女 8,200人(-23)
計	15,721人(-27)
出生	9人
転入	25人
死亡	21人
転出	40人

- 町県民税 3期分
 - 国民健康保険税 4期分
 - 介護保険料 4期分
 - 後期高齢者医療保険料 3期分
 - 上下水道使用料 10月分
 - 下水道受益者負担金 3期分
- 今月の納期(納期限11月1日)

お詫びと訂正

▼広報9月号(No.599)の記事中に誤りがありました。
・10ページ 東西長寿番付表の記事中 西方前頭の93歳、「田澤クニ子」さんの名前が表示されていませんでした。深くお詫びして訂正いたします。

編集後記

▼「600号の記念に、表紙をケーキにしよう」との願いが叶い、素晴らしいケーキで表紙を飾ることができました。協力していただいた、デセルルカワウチさんに感謝です。(大坂)



撮影後、おいしくいただきました

みんなの美術館

10月は翁島小学校のお友達の作品です

Our Museum



「ぐるぐるでおはながさいた」

筆をぐるぐる回して、渦だけできれいな花を描こうと思いました。工夫したところは、葉っぱも茎もぐるぐるで描いたところです。きれいな色で描けたのでよかったです。



加藤 真希さん(1年)



渡部 鈴賀さん(3年)

書道「くわの実」

夏休みの自主学習として、家で書いたものです。「実」のうかんむりのはねが難しかったので、気をつけました。図鑑で見た、くわの実がなっているところを想像して書きました。



食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No.161

ヤーコンサラダ (秋の献立)



【材料】4人分

ヤーコン 240g^㉔・塩こんぶ 40g^㉔・しらす干し 20g^㉔・水菜 80g^㉔・かいわれ大根 40g^㉔

【作り方】

- ① 皮をむいたヤーコンを4センチくらいの千切りにし、あく抜きと変色を防ぐために、酢水につけておきます。
- ② かいわれ大根、水菜もヤーコンと同じくらいの長さに切ります。
- ③ 熱したフライパンで、しらす干しを乾煎りしておきます。
- ④ ①～③と塩こんぶを合わせ、器に盛り合わせれば、出来上がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 56kcal^㉔、タンパク質 0.5g^㉔、脂質 3.0g^㉔、カルシウム 14mg^㉔、鉄 0.2mg^㉔、食物繊維 1.7g^㉔、塩分 0.2g^㉔

■一口メモ■

ヤーコンに多く含まれるフラクトオリゴ糖は、腸内のビフィズス菌を増やし、腸の機能を整えるので、食物繊維とともに便秘改善に大きな効果があります。